

8月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：http://jppf.jp/

□ パラパワー アジア & オセアニア大会の観客動員作戦



9/8-12、北九州芸術劇場で、2018北九州ワールドパラパワーリフティングアジア&オセアニア選手権大会を開催いたします。例年300人の観客が大会を見てくださった、と、喜んでいる当連盟ですが、今回の会場は1000人分の客席のある舞台です。

お客さんが少なくは、寂しいと、7月中旬、北九州市の小学校、中学校を訪問してパラ・パワー競技の紹介と体験会を実施しました。

写真上は、大分県別府市に住んでいる城隆志選手がパラ・パワーリフティングと言う競技の紹介をしているところです。

写真左上は、そのうちの一校の曾根中学校。

「城さんを応援に行きます」

「アジアの強豪を見てみたいです」

と、口々に言っていました。また、体験会の模様は、毎日新聞で報道されました。(記事抜粋左写真) 地道ですが、一校ずつ。一体験会ごとに、パラ・パワーを知ってもらおう草の根活動です。

現在、パラ・パワーの知名度はパラ競技(22種目)の中では下から19番目。今年中に11位くらいまで知名度が上がるよう、活動中です。

9月に北九州でパラパワーリフティング国際大会

9月の北九州で、生徒8人に、日本パラ・パワーリフティング連盟の吉田連理理事長の指導の下、パラ・パワーリフティングの体験会を実施しました。この体験会は、下級生から上級生まで、男女別に分かれて、40kgのバーベルを上げる練習を行いました。生徒たちは、バーベルを握る練習や、ベンチプレスを行いました。3年生は、1年生の男子と対戦しました。

出場選手ら富野中で競技紹介

40%を挙げるマクドナルド山本選手と関守る富野中の生徒たち

生徒が70キロ挙げ驚き

北九州のNPO法人「和心」は、障害者に対する支援活動の一環として、富野中を訪れ、パラ・パワーリフティングの体験会を実施しました。この体験会には、大分県別府市在住の城隆志選手が指導を行いました。城選手は、生徒たちに、バーベルを握る練習や、ベンチプレスを行いました。3年生は、1年生の男子と対戦しました。

西工大生に奨学金

北九州のNPO法人「和心」は、障害者に対する支援活動の一環として、西工大を訪れ、奨学金の授与式を行いました。この授与式には、大分県別府市在住の城隆志選手が出席しました。城選手は、奨学金を受けた生徒たちに、応援を申し付けました。

□ 選手強化



パラパワーを知ってもらふ一番の近道は、強い選手を育てることです。東京都障がい者スポーツ協会の育成事業や、連盟独自の練習会や合宿で現在、選手育成中。

□ 初めての記者会見



台湾のメダリストバウ選手を迎えて、連盟初の記者会見を開催しました。

連盟では初めての国際大会を開催すること。パラリンピックのメダリストの半数がアジアにおり、文字通りパラ・パワーの強豪の試合が見られること。舞台上で競技をするのは、IPCでも初めてで、選手にどれだけフォーカスできるかをコンセプトに大会を作っていること、などを紹介しました。